

[1160/4A-035-001]

Ver.15

4.内分泌学的検査 >> 4A.視床下部・下垂体ホルモン>>4A035 FSH(卵胞刺激ホルモン)

FSH(卵胞刺激ホルモン)

follicle-stimulating hormone

連絡先 3483

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

オーダーボタン名(検体)

1160

001

FSH

検査予約

16時30分以降翌日測定, 要連絡

至急オーダー

可

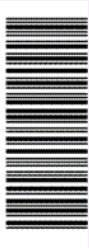
検査オーダーに関する注意事項

患者の検査前準備

検体採取のタイミング

ビオチンを投与・摂取している患者(5mg/日以上)の場合は, 投与後少なくとも8時間以上経過してから採血を実施してください。

ラベル見本(検体)(単項目オーダー時)

キョウダイテスト	
注	80 外
☐	☐ 急
AIA.	
	
血液	*_*_*_*_*-89001
☐ 中検	**_*_*_*_*_*
C6	☐ 6ml

ラベル見本(細菌)(単項目オーダー時)

採取容器・検査材料

[1160/4A-035-001]

Ver.15

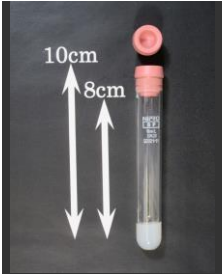
4.内分泌学的検査 >> 4A.視床下部・下垂体ホルモン>>4A035 FSH(卵胞刺激ホルモン)

FSH(卵胞刺激ホルモン)

follicle-stimulating hormone

連絡先 3483

01	C6	凝固促進剤＋血清分離剤(ピンク)	
採取材料	血液	採取量	6 mL
遠心分離		遠心	
測定材料	血清	測定必要量	



採取容器について

検体採取について

サンプル不良, 保存状態・搬送状態が不適切な検体は受入不可

採取後検体の取扱い

室温保存

検体搬送について

採取検体の保存条件

	保存検体種	優先 保存条件	保存条件1		保存条件2		保存条件3	
			温度	安定性	温度	安定性	温度	安定性
01	血清	保存条件2	冷蔵	7 日	凍結	60 日		

受入不可基準

溶血	検体凝固	強乳び	採取量過不足	採取容器違い
			不可	不可
尿材料違い	冷蔵保存なし	遮光保存なし	開栓	黄疸

検査に要する時間(生理検査)

再検査・追加検査の対応可能日数

検体採取日から5日間

検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項

検査機器 AIA-CL2400 (東ソー)

[1160/4A-035-001]

Ver.15

4.内分泌学的検査 >> 4A.視床下部・下垂体ホルモン>>4A035 FSH(卵胞刺激ホルモン)

FSH(卵胞刺激ホルモン)

follicle-stimulating hormone

連絡先 3483

検査所要日数	当日報告 16時30分以降の到着検体は翌日測定 （当日報告が必要場合は要連絡）
--------	---

検査部門・委託先	中央診療棟2階 中央検査室
----------	---------------

検査部門(平日時間内)	
-------------	--

検査部門(時間外・休日)	
--------------	--

検査結果報告について

基準値設定材料・検査方法

基準値設定材料	血液
検査方法	化学発光酵素免疫測定法（CLEIA）

生物学的基準範囲

		男性	女性	単位
00	男性	1.3 - 17.0		mIU/mL
00	成人卵胞期		2.6 - 11.9	mIU/mL
00	成人排卵期		2.8 - 15.6	mIU/mL
00	成人黄体期		1.4 - 9.6	mIU/mL
00	成人閉経後		13.3 - 157.1	mIU/mL

基準値情報

緊急異常値

電話連絡対応

臨床的意義

&nbsp;&nbsp;&nbsp;FSH（follicle-stimulating hormone）は、性腺機能異常の診断と評価に有用である。

異常値を示す病態・疾患

参考文献

[1160/4A-035-001]

Ver.15

4.内分泌学的検査 >> 4A.視床下部・下垂体ホルモン>>>4A035 FSH(卵胞刺激ホルモン)

FSH(卵胞刺激ホルモン)

follicle-stimulating hormone

連絡先 3483

JLAC10

分析物	4A035	FSH(卵胞刺激ホルモン)
識別	0000	
材料	023	血清
測定法	052	化学・生物発光イムノアッセイ (CLEIA)

変更履歴

Ver	文書更新日	変更適用日	内容
1	2008/04/01	2008/04/01～	制定
2	2016/04/25	2016/04/01～	平成28年度診療報酬改定
3	2017/03/21	2017/02/23～	検体ラベル表記変更[R]⇒[]
4	2018/04/06	2018/04/01～	平成30年度診療報酬改定
5	2020/04/02	2020/04/01～	令和2年度診療報酬改定
6	2020/07/03	2020/07/03～	ビオチン大量服用患者の留意事項を追記
7	2020/10/22	2020/10/22～	ビオチン干渉項目に関する案内文を改訂
8	2022/03/09	2021/12/09～	採取名称部分に検体搬送先を印字
9	2022/03/19	2021/12/27～	採取容器変更
10	2022/03/31	2022/01/01～	検査方法・基準値変更
11	2022/04/06	2021/06/25～	検査室名称を変更
12	2022/04/07	2022/01/04～	検査機器変更
13	2022/08/01	2022/04/01～	令和4年度診療報酬改定
14	2022/12/01	2022/12/01～	受入不可基準などについて全面改訂
15	2024/06/04	2024/06/01～	令和6年度診療報酬改定